

令和6年度 第4回 与進小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月27日（木） 13時30分から16時10分まで
- 2 開催場所 与進小学校 多目的室①
- 3 出席委員 石津 恵也、鈴木 清久、鷹森 光代、星 貴之、鈴木育男
中山 利彦、仲川 尚志
- 4 欠席委員 幸田 記代子、小池 彰吾、玉ノ木 杏里
- 5 オブザーバー 石井 智也（長上協働センター所長）
- 6 学校支援コーディネーター 竹村 祥子
- 7 学 校 杉山 行夫（校長）、影山 重広（教頭）、内田 智美（主幹教諭・CS担当）
池田 典央（生徒指導主任）、堀内 千佳代（CSディレクター）
- 8 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 堀内 千佳代
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、第1回会議で承認された石津会長が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 学校関係者評価
 - ① 来年度の改善策
 - ② いじめ防止への取り組み状況
- (2) 令和7年度学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価

13 会議記録

司会から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価

① 来年度の改善策

内田主幹より別紙資料「あかまつ」・『「前期・後期学校評価アンケート」結果について』に基づき、学校評価の結果と今後の改善策についての説明があり、委員より以下の発言があった。

- ・アンケート結果を見ると、児童と先生との間に認識のギャップを感じる。（星委員）
⇒正しい行動を共有することでギャップを埋めていきたい。（内田主幹）
- ・英語の授業はどうやって評価するのか。（中山委員）
⇒3・4年生は話す・聞くのコミュニケーションの力を育てることが目的なので

活動のあらわれを評価するが、5・6年生は教科になるので話す・聞く・読む・書くの4領域で評価する。小学校時代に英語嫌いにさせないように教育している。
(内田主幹)

② いじめ防止への取り組み状況

池田生徒指導主任より別紙資料「いじめの報告」に基づき、いじめ認知及びいじめ防止への取り組みについての説明と、令和7年4月より「与進小学校いじめ防止基本方針」が改定される旨の報告があり、委員より以下の発言があった。

- ・ 下校後のいじめ事案が発生したら情報を教えてほしい。先生と違う人が温かい声掛けをすることは子供にとっても良いことだと思う。(鷹森委員)
- ・ 授業中にいじめ(けんか)が発生した場合、先生はどのような対応をとるのか。(石津会長)
⇒まずは学年主任に相談をかけ、人手が足りない時は職員室に応援を求め、その都度臨機応変に対応している。(池田生徒指導主任)

(2) 令和7年度学校運営の基本方針について

校長より別紙資料「グランドデザイン」「学校経営基本方針」に基づき、令和7年度の学校運営基本方針についての説明がされ、委員より以下の発言があった。

- ・ 保護者にいかに伝えていくかが重要。わかりやすく簡単にまとめ保護者の理解が得られるようなPRをしていけば更に良くなるのでは。(星委員)
⇒さくら連絡網等で情報発信をしても発信しただけでいいのかというジレンマがある。良いアイデアがあったら教えていただきたいし、ロコミで言ってくれるとありがたい。保護者の意識を変えることも教育力のアップにつながると思う。
(校長)

協議の結果、令和7年度学校運営の基本方針について全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

議長より別紙資料「学校運営協議会自己評価表」に基づき、来年度の目標をどうするか問いかけに、委員より以下の発言があった。

- ・ 話し合いの「合い」の部分ができず感想で終わってしまった。今後は焦点を絞り、意識して活動に参加することで支援者のやりがいを引き出し、子供たちの支援をしていきたい。昔の遊びの様なフィードバックをしていく活動は良い手立てだと思う。(鷹森委員)
- ・ 学校の課題点を実現していくためにどんな解決方法があるかを話し合っていく事が、学校運営協議会の本来の姿である。(星委員)
- ・ 学校の職員以外で必要とする人材を探す事は、支援のやりがいもあり協議会があることの意味がある。様々な方とふれあい豊かな体験をすることは、子供たちにとって将来生きて行く力になる。(鷹森委員)
⇒学習支援活動が普通にできることは大変ありがたいこと。フィードバックすることで子供たちも成長し、支援者もやりがいを感じそれが進化につながると思う。(校長)

- ・ 子供達を成長させていくのが教育である。CS活動も昨年より広がりを見せているが、評価をどう見るかという点が不明確である。(鈴木育男委員)
⇒学力テスト等の結果を受け止めると共に、地域の方や保護者の方の力を借りながら子供たちの成長につなげたい。(校長)
- ・ 学校側が示したランドデザインで教育活動が行われるにあたり、我々が更にどうサポートしていくかを話し合うことが必要。(竹村コーディネーター)

その他報告事項等

- ・ 影山教頭より夢育やらまいかCS加算分について口頭で報告がされた。
- ・ 石井オブザーバーより長上協働センターが3月1日にリニューアルオープンをし、地域の方にCS活動を知ってもらうために、CSだより等のチラシを掲示するスペースを常設する旨の報告があった。